

はやしばら びじゅつかんしょぞう だいまいけ のうしょうぞく のうめん
林原美術館所蔵 大名家の能装束と能面

The Feudal Lord's Noh Robes and Masks: From the Collection of Hayashibara Museum of Art

10月6日(土)～11月25日(日)

[前期] 10月6日～28日 [後期] 10月30日～11月25日

※会期中に展示替えがあります。

主催：渋谷区立松濤美術館 特別協力：林原美術館

＊開館時間

午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

＊毎週金曜日は午後8時まで(入館は午後7時30分まで)

＊休館日

月曜日(ただし、10月8日は開館)、10月9日(火)

＊入館料

一般1,000円(800円)、大学生800円(640円)、

高校生・60歳以上500円(400円)、小中学生100円(80円)

＊()内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料

＊毎週金曜日は渋谷区民無料

＊障がい者及び付添の方1名は無料

土・日・祝日は

小中学生無料!

林原美術館所蔵
大名家の
能装束と
能面

From the Collection of Hayashibara Museum of Art

子どものためのガイド

会期：10月6日(土)～11月25日(日)

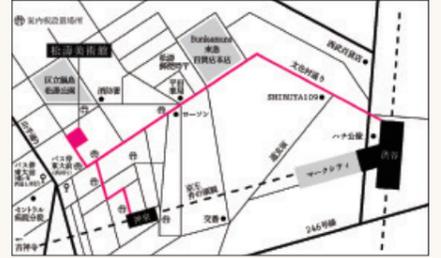
※会期中に展示替えがあります。

渋谷区立 松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL 03-3465-9421 <http://www.shoto-museum.jp>

クイズだよ!

美術館で、この模様の着物をさがしてね。見つけたらスタンプをおしてかえってね!



[アクセス]
京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分
JR・東京メトロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分



スタンプ

編集：渋谷区立松濤美術館 発行：ニューカラー写真印刷株式会社 ©2018 渋谷区立松濤美術館

参考：観世臺正・正田夏子著、青木信二撮影「一歩進めて能鑑賞 演目別にみる能装束」淡交社、2004年

「能装束」は、演者の着る衣装のことです。
「能面」は、演者の顔を覆う仮面のことです。
「能装束」は、演者の着る衣装のことです。
「能面」は、演者の顔を覆う仮面のことです。



これは女の役の姿です。



これは男の役の姿です。

自分たちを演じているのは、男役と女役です。男役は、大抵、刀を手にして、女役は、扇を手にして、舞台上で演技をします。

能の知識を楽しく学ぼう!

舞臺の上で、男役と女役が演技をします。男役は、大抵、刀を手にして、女役は、扇を手にして、舞台上で演技をします。

2

こわい面とおもしろい面



般若

10/6~11/25に展示

角がはえて口が裂けた
こわい能面は「般若」。
女の人が
鬼に化ける役で
使います。



猿べしみ

10/6~11/25に展示

猿の顔に似ている妖怪なので、
「猿べしみ」と呼ばれています。



口をぐっと結んで
目を見開いた、
おもしろい顔をしたお面は
「べしみ」。
天狗などの妖怪の役で
使います。

3

きれいな着物



草花の模様の着物

10/6~11/25に展示 重要文化財

能装束は、きれいな色の糸や金・銀で
いろいろな模様をあらわし、
とても美しくつくられています。

重要文化財とは、大切に守っていかなければいけない日本の財産で、特に国が優れていると認められたものをいいます。

4

着物の模様



女の役
菊の花などのやさしい模様。

菊の模様の着物
10/30~11/25に展示



菊の花



その華やかな模様を
ていねいにみると、
いろいろな色の糸で
織ったり、縫ったり、
金や銀を貼ったり、
とてもすぐれた技で
つくられていることが
わかります。



龍と獅子の模様の着物
10/6~28に展示

男の役
獅子など力強い模様。



龍と獅子



「壽」の文字の着物
10/6~28に展示



「めでたい」という
意味の漢字です。